

2 0 2 6 年

新年の御挨拶

新年にあたり、12町長のメッセージを紹介します
町行政への引き続いてのご協力をお願い申し上げます



猪名川町長
岡本信司

Nobuji Okamoto

笑顔あふれる猪名川へ

本年も、「つながり」と「挑戦」で、幸せと笑顔あふれるまち・猪名川の実現に向け、皆さまと共に歩んでまいります。

人口減少や災害への備え、地域経済の活性化など、私たちの町が直面する課題は少なくありませんが、町民の皆さま一人ひとりの知恵と絆が、これらを乗り越える力になると信じています。

笑顔あふれる一年となるよう、自然や暮らしを守る町政に全力で取り組んでまいります。



多可町長
吉田一四

Kazushi Yoshida

子どもたちの未来のために

令和8年4月、3中学校の統合校「多可中学校」が開校し、未来を担う学びの拠点が新たに誕生します。

地域の指導者や多様な世代が子どもたちを支える新たな仕組みで部活動の地域展開も進めていきます。

町・地域・学校が連携し、子どもたちの「やってみたい」を「続けられる」に変えていく環境整備を着実に進めてまいります。



稲美町長
中山 哲郎

Tetsuro Nakayama

“愛”変わらず、いいところ。いなみ。

今年の春、稲美町にスケートボードや3x3などが楽しめる「アーバンスポーツ施設」が完成します。

この施設を通して、多くの人が集い、住民同士の交流が広がる新しいコミュニティが生まれることを期待しています。

こどもから高齢者までのすべての住民の皆様が快適に安心して暮らせるよう、ともに力を合わせ、未来にむけたまちづくりを進めてまいります。





播磨町長 佐伯謙作

Kensaku Saeki

「多様性」「公平性」「包摂性」があり、
すべての人が尊重される社会をめざして

播磨町では、人権尊重のまちづくり条例の制定や、「地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム」の採択を受けるなど、誰ひとり取り残されないまちづくりを進めています。

今年は第5次播磨町総合計画が折り返しを迎え、後期基本計画がスタートします。まちの将来像『いいとこいっぱい！笑顔いっぱい！みんなで作る ふるさと はりま』をめざし、様々なことにチャレンジしてまいります。



ひまわり畑



市川町長
津田義和

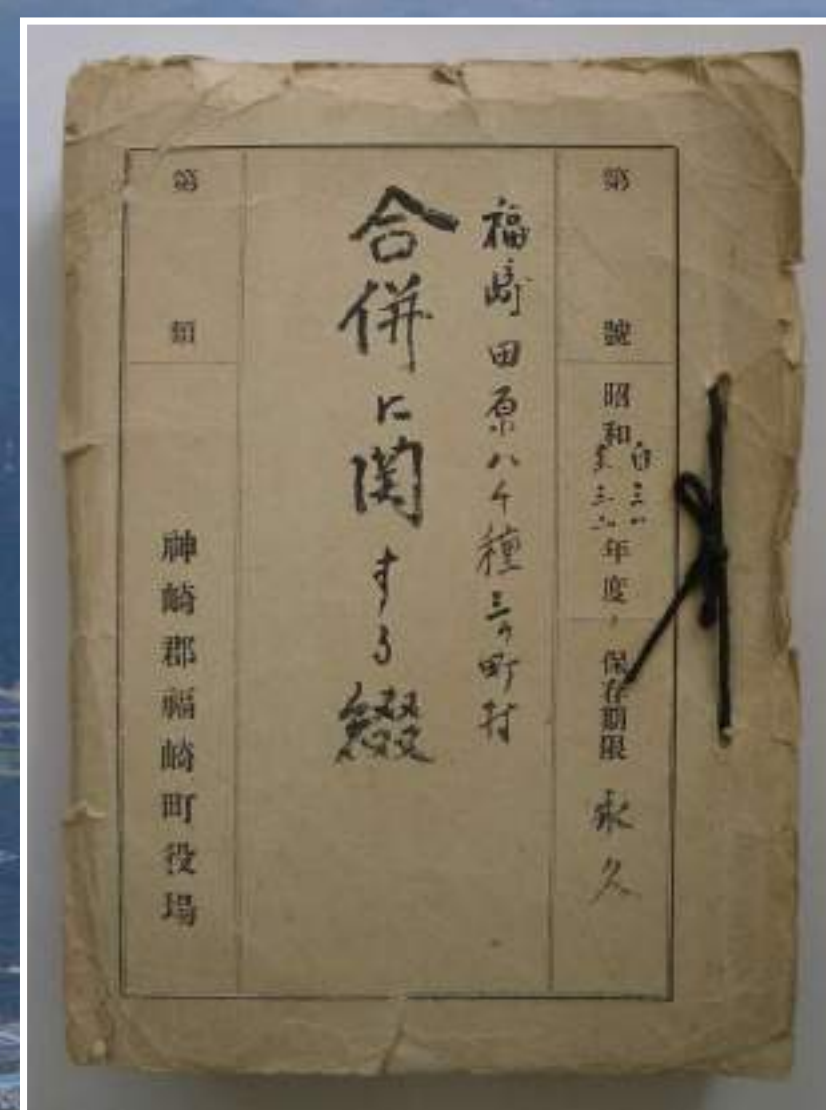
Yoshikazu Tsuda

市川町を持続可能な町へ

明けましておめでとうございます。

本年4月から、町行政運営の総合的な指針となる新たな「市川町総合計画」、「総合戦略」がスタートします。

人口減少の中にあっても、町民の皆さまが幸福で、多様で、充実している、そんなまちづくりを進めていくため、新たな総合計画・総合戦略に掲げる各種施策をバランスよく充実させながら、『キラリと輝く市川町』の実現に向けて全力で邁進してまいります。



福崎町長
尾崎吉晴

Yoshiharu Otsaki

福崎町は町制70周年を迎えます

昭和の大合併により福崎町が誕生してから本年5月3日で70年を迎えます。

この長い道のりは歴代の町長、議員、そして何よりも町民の皆様の郷土を愛する思いとたゆまぬ努力の賜物です。

これまでの町の発展にご尽力いただいたすべての方々に感謝とお礼を申し上げます。

これからも「活力にあふれ 風格のある 住みよいまち」をめざして、まちづくりを進めてまいります。



神河町長
山名宗悟

Sogo Yamana

突き抜けよう かみかわ！

神河町は21年目を迎え、新たな歩みを進めます。

昨年オープンした神河町図書コミュニティ公園「桜空（おうぞら）」を中心に、まちの賑わいを創出するとともに、未来を担う子どもたちの感性と心を育む取組を一層推進していきます。

町民と職員が一体となった“チーム神河”として、スローガン『突き抜けよう かみかわ！』のもと、挑戦を続け、未来を切り拓いてまいります。



神河町図書コミュニティ公園 桜空（おうぞら）



太子町長
沖汐守彦

Morihiko Okishio

子どもたちの瞳輝く 「和のまち 太子」の創造

昨年度は、全庁・全職員体制で行財政改革を行い、様々な理由で残されていた懸案事項に着手し、一定の方向性を示すことができました。

本年度は、たいへん厳しい財政状況ですが、全体のバランスを図りながら、積極的な予算編成を行い、目の前の子どもたちが大人になったときに感謝してもらえる「和のまち 太子」の実現に向けて、住民・企業・各種団体の皆さまと協働しながら、全力で取り組んでまいります。



上郡町長
梅田修作

Shusaku Umeda

町営「上郡ピュアランド山の里」再開 ～地域の交流とにぎわいの新たな拠点に～

上郡ピュアランド山の里は、自然の恵みと地域の温もりに包まれた観光・交流拠点として、新たな一歩を踏み出しました。

栄養豊富なモロヘイヤやモリンガなどの地元特産の食材を生かした料理や、四季折々の自然や歴史文化に触れる体験を通じて、上郡の魅力を存分に感じていただけます。

新たな発見と楽しさを提供してまいりますので、上郡町へぜひお越しください。



DOSAYO「南光ひまわり畑に新しいモニュメントが設置されました」



佐用町長
江見秀樹

Hideki Emi

佐用町をいつまでも 安心して暮らせる町に

令和8年の新春を迎え、謹んでごあいさつ申し上げます。

昨年、合併20周年を迎えた佐用町は、次の10年・20年後を常に見据え、地域力と人のつながりを基盤に、可能な限り人口減少の緩和を進めながらも、人口が減っても充実した暮らしを実現する「小さくてもキラリと光る町」を目指してまいります。

本年も、なお一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。





香美町地域防災拠点



香美町長
浜上 勇人

Hayato Hamagami

災害に強いまちを目指して
～地域防災拠点施設の完成～

大規模災害時の救援、救護及び復旧活動の拠点となる「香美町地域防災拠点」が昨年12月に完成しました。

鉄筋コンクリート造2階建て、延床面積約800㎡で、1階は救援物資等の集積・配送スペース、2階には備蓄倉庫、応援職員の待機スペース、会議室等を設けています。

今後も、町民の防災意識の向上を図るとともに、防災・減災対策に取り組み、安心・安全なまちづくりを進めてまいります。



新温泉町長
西村 銀三

Ginzo Nishimura

子育ての夢がひろがるまちづくり

新温泉町では、子育て世代を応援するため、出生時から学校生活を終えるまで切れ目なく、様々な支援を行っています。

新温泉町への愛着向上と、町内外へ「子育て支援充実のまち」としての魅力を発信するきっかけとなるように、昨年、「新温泉町子育てキャッチフレーズ・ロゴマーク」を決定しました。

このキャッチフレーズ・ロゴマークが広く親しまれるよう、今後も子育ての夢がひろがるまちづくりに努めてまいります。

兵庫県町村会